



はちろうがた

2008年3月 95号

# 議会だより

発行：八郎瀧町議会

編集：議会広報編集委員会

〒018-1692 秋田県南秋田郡八郎瀧町字大道80

TEL 018-875-5810

## 総務教育 常任委員会



幼稚園・保育園のあり方について検討



町立八郎瀧町幼稚園視察

## 民生産業 常任委員会



八郎瀧町上水場 高度浄水処理場現場説明



八郎湖周辺クリーンセンター視察

- ◆ 2～4 ページ …………… 一般質問
- ◆ 5 ページ …………… 委員会審議
- ◆ 6 ページ …………… 請願・陳情

# 一般質問



近藤美喜雄 議員

## 高額療養費制度について

**問** 高額な医療費がかかった場合、所得によって一定額以上を公的医療保険から還付してくれる制度ですが、一般にはあまりよく知られていない。70才未満の人の場合も「限度額適用認定証」を提示すれば、自己負担限度額だけの支払ですむようになった。「世帯全員」「多数該当」あるいは制度の改正内容について、時効もあるので、還付請求もれないよう、定期的にPRすべきだ。

**答** 本町の場合は、国民健康保険連合会から提供されたデータに基づき、

対象者にその旨を通知し、申請により高額医療費を支給している。期限を過ぎてからの申請事例はない。制度の内容については、今後、町広報などで周知していきたい。

## 湖東総合病院の改築計画の推進状況と問題点について

**問** 23年4月1日開院予定が議会に示されていますが、その後の進捗状況をお知らせ下さい。この整備計画は、あきた21総合計画第三期実施計画にも盛り込まれています。最大の難関は農水省の厚生連に対する財務内容の改善計画とその実績にあるようでありませんが、これとて、「湖東」は病院改築計画の認可状況の中で、一旦は計画に入っていたものと認識しています。計画の早期実現のため、地元四町村連携に足

並みの乱れはないとは思いますが、建設に対する更なる強い熱意を厚生連や県に伝えていって頂きたい。



**答** 2月29日の改築推進協議会で厚生連から、国県からの助成計画が遅延しているため、改築計画におくれがでている。したがって、開院は23年度以降になる見通しであるとの報告を受けた。しかし、この計画は実現してもらわなければならない計画なので、四町村一丸となって、県・厚生連に働きかけていきたい。



金 一義 議員

## 第5次基本構想に示されている大道西駐車の宅地分譲計画は

**問** この9月をもって2期8年の任期を迎えようとしておりますが、その間合併破綻と町は自立を余儀なくされ、歳入確保のため町長は、大道西駐車場の宅地分譲を計画し、その売却費を自立計画の歳入に入れた、財政シミュレーションを町民に示した経緯があります。多大なエネルギーと時間、町費の負担を強いられたが、その後この問題に触れることなく今にいたっているが、5次基本構想にもこの土地の分譲と人口増の施策を講ずるとありますが分譲の計画をまだお持ちなのかお知らせください。

**答** いまの景気不況下ではもう少し様子を見ての方が賢明かと思っている。今後においても5次基本構想での分譲を検討するのか、変更するのか経済動向を見極めて進めたい。

## 当初予算に占める子育て支援はどうか

**問** 町長は昨年6月議会に私の質問答弁の中に今年度は子育て支援などの少子化対策に重点的に取り組み、出生率アップを目標に掲げるとあります。県でも当初予算に「支援事業」等の予算を盛り込



んでいますが、町では、子育て支援にどのような知恵を出し、予算に反映されたのか。この地区にお産の出来る医療機関がありません。近隣市でのお産を余儀なくされています。そのためにも出産の手立てが必要で妊産婦や付き添いの交通費等助成の出産支援制度を提案します。5次基本構想にある、働く女性の育児相談体制の強化とあるが実態はどのようなになっておるのか、お知らせください。

**答** 保育所に常時看護師等を配置し児童が体調不良の際の「病児、病後児保育事業費」を盛り込んでいます。働く女性の育児相談については「地域子育て支援センター」を拠点に事業展開をしている。

## 高度浄水処理施設の業者選定は公約通りか

**問** 「それには公平な入札を行いますして、疑問視される事がないように」と、町では、入札制度の模索

をしておるところです。方法としては、公募型の入札制度の導入を考えて参ります。尚第三者機関からの意見を聴衆する機会も必要と考えております。この文章は、私の12月議会の質問に答弁されたものです。実際にこのように入札体系になるか疑問です。また計画書によれば7月の竣工とありますが、いまだ工事発注されていませんが、7月の竣工になるのか、その見解は。

**答** 公募型入札の事務体制が整っておらず、八郎潟町に入札申請をしている業者にした。公募型入札における第三者機関も県内・東北に専門家がおらず断念した。完成も8月末頃の完成予定と見ている。

### 2期8年に及ぶ町長自身、政策の成果をどのようにみているか

**問** これまでの8年間に

及ぶ町政の舵取りでなにが実行でき、何が実行できなかつたのか、トップとしての認識は、今年度の予算は今後4年の土橋町政を見据えたものなのか。

**答** 今皆さんの力を借り、ここまでできましたが反省する所は反省し残りの6ヶ月を全力で町政の舵取りをする。

### 三倉鼻地域の下水道整備を急げ

**問** 計画ではこの地域は

合併槽の計画ですが、湖沼法指定等を考えると、以前からいろんな繋がりがある「長い間の懸案であった、両町の境界も確定した隣町の天瀬川地域の広域下水に排水処理委託のお願いを三倉町にお伺いしてみたらいかがでしょうか。三倉鼻地区の快適な生活のためにもここに提案する。

**答** 県生活排水処理整備構想の見直しの検討が20年度予定されている。整備方針について様々な角度から検討されるべきと考えております。



村井 剛 議員

### 転作の実効性確保と農業の活性化策を問う

**問** 全国で二七府県が、

秋田県が、四・九%で全国一。本町には四・八%の罰

則。出回りの量の過剰感が、米価の低迷を招いている。政府は、実効性を高める為、緊急一時金で対応。その効果が危うい中で、町としても積極的な対応が必要と思うが、見解を問う。又、将来転作補助金の段階的縮小が予想される中、米偏重脱却を図るため、新たな産業の育成を目的とした特産物の開発が必要と思うが、当局の見解を問う。

### 商店街の活性化策を問う

**問** 郊外型大型店の進出

により、本町商店街もシャッター通りと化す傾向にある。町では、第五次基本構想で、商工会も商業新興ビジョンでその振

**答** 新食糧法では、作る自由、売る自由が認められ、転作の実効性が確保されていない。転作参加者のみで計算し、102.64%で、ペナルティはないと認識。実効性を上げるには、生産調整に参加し、困地化による作業効率の向上・収量増加、交付金の配分等、所得向上につながるメリットを正すより

ない。転作拡大による一時金のメリットを示し説明している。農業の活性化策については、今まで様々取り組んできたが、定着したのにはマガモの飼育だけ。新しい技術や品目に取り組み意欲に乏しい。行政の責務も重大であり、農家と対話し活路を見い出したい。

### 新たな産業の創出について

**問** 少子高齢化社会が進

行する中で人口減は、きわめて深刻である。その打開策の一つとしての雇用の場の確保は、重要である。近年、リサイクル・バイオマス・自然エネルギーの活用等、環境に関する産業の創出に取り組む自治体が増えている。八郎湖の水質改善問題をかかえる本町も、真剣に取り組んでほしいと思うが、見解を問う。

興策を掲げているが、その具体策に乏しい状況。商店街のにぎわいを取りもどす打開策を問う。

**答** 大型店の進出と人口減により、売り上げが落ちてきている。これまで、商店街の代表者と産業振興班で懇談会を開催し、次の事が提案されている。①イベントの開催②ベンチの設置③空き店舗の取得等である。今後も、商工関係者と行政との情報交換の場を検討する。

### 教育の振興と図書館の建設

**問** 人を育てるは百年の

大計と申します。人口密度全県一の本町にとって人を育てることは、町発展の“礎”である。日本の教育は、“ゆとり教育”から“学力の向上”を主眼とし、教育基本法・教育三法・学習指導要領を改正した。この動きの中で、本町教育の基本を問う。又、学校・社会・家庭教育を機能させ、地域振興・産業振興の活性化を考えた図書館の建設を考えたはと思うが、当局の見解を問う。

**答** 農水省の農地・水・環境対策事業を、本町の三団体を取り組んでいる。しかし、助成額(四・四〇〇円)が少ないとして、減農薬・減化学肥料の環境農業に取り組む団体がなかった。今後は、八郎湖の水質改善に向けた。落水を少なくする農法の確立に努めたい。

**答** 色々改正があっても

”生きる力を育くむ”目的に変わりはないが、生きる力のつけ方が変わった。その力を支えるのは、”たしかかな学力”、”豊かな心”、”すこやかな体”である。これからの社会は、”知識基盤社会”との認識のもと、学力の重要性が増しているが、三要素の調和のとれた教育を目指したい。新指導要領では、学力が重視されているので、本町の教育も学力の向上を図るとともに、文武両道を旨としたい。

図書館の建設について



伊藤 秋雄 議員

### 教育委員会の取り組みについて

問 ①小・中学校の全国学力テストの成績は全県どの程度の成績だったか。

②教育現場でのコミュニケーションはどうか。教育長はどう対応している

は、多額な経費が必要であり現状では無理である。良い方法があればと思っている。



か。

③学校の重要課題の解決、基礎的な知識力と活用する力、学習意欲の改革にどう取り組むか。

④学校給食では食の安全のための点検、小麦などの原材料高もあり一食の量、単価、衛生管理は。

答

①小学校は国語算数共に全県的に知識・活用とも下回っている。中3は国語数学とも全県を上回り数学は全県では知識が下回り、活用が上回っている。



### 町長の意思表明と今後の政策を問う。

問 ①土橋町長は9月23日

②教員の力量を高めることが校長の重要な努めである。教員に求めることが多く、負担になっている。何が問題か話し合っている

- ③新指導要領は「生きる力」を学力向上に求めている。学校は3本の柱を掲げ、
- (1)知・基本を身につける。
- (2)徳・自ら律し他人を思いやる。
- (3)体・体力をはぐくむ

伝統芸能伝承の時間も確保したい。

④中国産は使用していない。醤油・味噌は本町で作られたものを使用。給食費は質を落とさず13円値上げ。小学校275円、中学校325円。サルモネラ菌などの検査は年一回。

②結婚相談活動推進事業、または結婚相談所を設置することはできないか再質問した時「やります」と答弁。その後事業は、③湖東三町商工会会長、青年部長から請願・陳情され議会でパブリック跡地は必要だと三度も採択されたが全く先が見えない。町の歴史文化、芸術に関するイベントを一年間通して観光客を呼べる拠点として町の中心であるパブリック跡地は最高の場所である。

問 ①湖東総合病院は建築されてから40年以上も経ち、安全面(耐震性)・器具の更新、衛生面で心配。一日も早い移転新築を望むが進捗状況は。

### 湖東病院の移転新築計画の進捗状況について

④従来の公共工事は一括方式で発注者や業者の選定の不透明感がある、CM(分離発注)方式の場合コストの透明性・縮減になる。事業計画を行っている墓地公園にCM方式の導入を。

答 ①やりとげていないことや完成していないことがあり良心が咎めるので、私の判断として意思表示は六月まで待つてほしい。

②結婚支援事業については新年度予算に事業費を盛り込んでいる。広報を通じてボランティアを募り、活動方法を協議、相談体制を作り結婚する方が増えるよう努める。

③パブリック跡地の購入は、平成21年まで財源不足。この状況下で投資するのは財政が窮地に陥る。必要は認めるが購入できない。

④墓地公園は少額な事業費なのでこの度は見送る。CM方式は今後の発注の検討事項として考える。

②本町では平成20年まで下水道工事100%を目指し湖東病院の移転新築が遅れた場合、公共下水道、汚水管渠築造工事の計画では湖東病院を含めた周辺エリアの工事は。

③湖東病院では医師不足で出産はできないようだが妊産婦や患者が救急車で搬送された時の受け入れ態勢、出産ができる医師の確保、勤務医の過重労働など連絡協議会で要望や話し合いは。

答

①移転新築計画は今のところ遅れており、今後早期に新築するよう働きかける。

②遅れても周辺の公共下水道整備事業を20年度に計画通り進めていく。

③運営委員会では病院の現状や診療科目の変更を話し合っている。婦人科の医師不足により、定期健診は行いが、出産は周辺の病院を紹介している。

# 各常任委員会の審議

## 総務教育 常任委員会

**問** 職員定数管理について、今後の採用見込みは、

**答** 20年度は1人の採用でありましたが、21年度も数人の採用を予定しています。役場の事務量が増えているのが現状で、研修等にも参加できない状況であり、職員からの不満もあります。

**問** 総括意見 職員の定数について、自立計画では60人体制を目指しているが、事務量の増大や町民サービスの低下が懸念されることから、支障をきたさないよう、年齢構成を重視した弾力的運用と適正職員定数管理を強く提案する。

**問** 北嶋館長から3月31日付で退職願が出ています。今後、組織機構で職員の中から公民館長を兼務させる計画であり、報酬はありません。

**問** 給食食材が値上がっているが、今後、給食費の値上げを見込んでいますか。又、幼稚園の給食は考えたことはあるか。

**答** 一食13円値上げすることが、給食運営委員会ですと約2,500円の負担増になります。幼稚園の給食に関しては、調査した結果、給食にしてほしいという親が極端に少なく、考えていません。

**問** 選挙が多い年度となるが、平日投票を実施すれば、その費用はかなり軽減されるのではないかと。

## 民生産業 常任委員会

**問** 小坂町が平日投票を実施しましたので、研修したいと思っています。尚、投票所についても、検討したいと思います。

**問** 懸案であった墓地公園の実施設設計がいよいよ具体化する。町では浦大町字塞ノ神に5千700mを地権者の同意を得、取得することとした。

直前に実施した、町営墓地公園に関する調査によれば、販売と同時に購入を希望する人が53人、3年以内6人、5年以内5人などとなっている。これに対し、設計発注に対する町の基本的な考え方によれば、墓地区画数、103区画、駐車場と水場を備え生垣と低・高木

による植栽などとなっている。

委員会としては、過大な区画造成がないよう十分検討すること、あるいは、5年後に整備することにしてはいる進路を、購入する人の立場に立つて、同時に整備すべきだとして、計画の再考を促しながら、当面、定住条件整備に配慮し、事業をすすめるべきものとした。

尚、実施設計業務委託料については、予算が多すぎるとの意見もあり、今後、再精査し、予算執行にあたることとした。

**問** 高度浄水処理施設整備工事の入札について

高度浄水事業については、12月定例会において、19年度、20年度の継続事業として既に議決されている、3月定例会終了後、ただちに入札を実施し、施工業者を選定することになっていきます。

本委員会としては、この事業が、町内業者で対応出来る通常の土木工事や建設工事と異なり、中央の業者による特殊な工事であること、あるいは

監理も委託することから、業者の意欲と自由な競争を促す手法が望ましいとの意見が全体を占め、入札にあたっては最低制限価格を設けるべきでないとの観

点から、慎重に議論を進めた結果、当局もその方針に添って入札行為を遂行することとしたことから、関係予算については可決すべきものとした。

### 平成19年度全国町村議会議長会

#### 「自治功労者並びに優良町村議会」表彰

議員として15年以上在職



在職年数 15年6ヶ月  
八郎潟町 副議長 小野 廣

全国町村議会議長会表彰  
について、2月6日(水)開催の全国議会議定期総会において表彰が行われました。

議会議務局職員として15年以上在職



在職年数 15年6ヶ月  
八郎潟町 課長 八木 枝



#### 「自治功労者」表彰

平成19年度秋田県町村議会議長会



在職年数 30年11ヶ月  
八郎潟町 議員 菊地 勝仕

秋田県町村議会議長会表彰について、2月22日(金)開催の県議会議定期総会において表彰が行われました。

## ■ 請願・陳情

請願・陳情等の件名	請願・陳情者氏名	審査委員会	本会議結果
多重債務対策の充実を求める要請書	秋田弁護士会 会長 木元 慎一	民生産業	採 択
特別支援教育支援員の配置に関する陳情書	秋田県教職員組合男鹿南秋支部 支部長 佐藤 寿芝 八郎潟地区委員長 赤田 富貴子	総務教育	採 択
農業委員会の必置規制の堅持に関する要請書	八郎潟町農業委員会 会長 櫻庭 正男	民生産業	採 択
「鳥獣被害防止特措法」関連予算を、鳥獣捕殺ではなく自然林復元と被害防除に使うこと等を求める意見書提出に関する陳情	日本熊森協会 会長 森山 まり子	民生産業	不採択
地域別最低賃金の引き上げと最低賃金制度の改正を求める陳情	秋田県春闘共闘懇談会 代表委員 中村 秀也 他二名	総務教育	採 択



## 議会のうごき

1月4日	消防団出初式		27日	議会運営委員会
8日	議会打ち合わせ			議会広報編集委員会
	商工会新春賀詞交歓会		29日	湖東病院改築推進協議会 (五城目町丸富)
10日	議会運営委員会		3月	
	全員協議会		4日~14日	3月定例会
	民生産業常任委員会		7日	八中卒業式
	第1回臨時会		13日	議会広報編集委員会
18日	例月出納検査		14日	幼稚園卒園式
24日	秋田県町村議会議長会 (市町村会館)		17日	例月監査
27日	町民座談会 (改善センター)		18日	八小卒業式
2月1日	合同厄祓・還暦祭 (改善センター)		19日	議会広報編集委員会
2日	防災行政無線受信機取扱い説明会 (改善センター)		21日	議会広報編集委員会
10日	町文化芸術総括発表 (改善センター)		24日	八郎湖周辺清掃事務組合議会
12日	後期高齢者医療連合議会 (市町村会館)			八郎潟町・井川町衛生処理施設組合議会 (八郎潟町役場)
13日	民生産業常任委員会		25日	議会運営委員会
19日	議会運営委員会			第3回臨時会
20日	例月監査			大潟地区衛生処理組合解散式(サン・ルーラル)
22日	町村議会議長会定期総会 (市町村会館)			湖東地区行政一部事務組合議会 (本署)
26日	南秋田郡町村議会議長会連絡協議会 (五城目町)		26日	南秋田郡町村議会議長連絡協議会定期総会 (五城目町)
			28日	八郎湖周辺清掃事務組合竣工式

### 編集後記

一昨年の冬は、昭和48年以來の豪雪。昨年の冬は、観測史上に残る「大暖冬」であり、久々に雪のない正月であった。

今年の冬は、10cm以上の降雪を観測したのが、数回。あとは、数cmの降雪の連続。結果的に、例年以上の積雪となったものの、異常気象の典型である。

新年度の予算案審議で、上水道の高度浄水処理施設の建設工事が、注目を集めた。アオコは、発生しない事を願っていたが、発生時において、処理施設が、十分機能し、町民の負託に答えられる事を願うものである。

議会広報94号において、当局の「答弁なし」の記事に、問い合わせが多数寄せられた。一般質問の記事は、質問者によって書かれたものであり、編集委員会においての訂正には限界がある。その対応策を協議し編集要綱を定めたので御理解賜りますようお願い申し上げます。  
(村井)